

【韓国】竹島領有権をめぐる国会決議採択

* 2008年7月11日、洪準杓(ホン・ジュンピョ)議員他263名により、「日本国の独島領有権主張の中断を促求する決議案採択の件」が国会本会議に提出され、即日可決された。

提出から可決まで

同決議案は、第18代国会(任期2008～2012年)が開会した直後の第276回国会(臨時会)第2回本会議に提出されたものである。韓国の国会議員の定数は299名であり、260名を超える議員により決議案が提出されたということは、与野党を問わずこの件についてはほぼ一致していたことがわかる。なお、同日の出席議員は251名であった。

金炯旰(キム・ヒョンオ)議長は、会議の最初に「今日の本会議を開会することになったのは、大韓民国の固有領土である独島について、中学校社会科教科書の学習指導要領解説書に独島に対する領有権を明記しようとする日本国の試みが大韓民国の領土主権を侵害するものとして、これに厳重に対処するための国会次元での決議案が洪準杓、元惠榮(ウォン・ヘヨン)、權善宅(クオン・ソンテク)、朴鍾根(パク・ジョングン)議員他260名から書面動議が提出され、与野党の合意に従ってこれを処理しようとするものであります」と報告している。洪議員は与党ハンナラ党所属、元議員は最大野党統合民主党所属、權議員は保守派の野党自由先進党所属、朴議員は野党親朴連帯所属議員で2004年に韓日議員連盟の副会長に選出された経歴を有する。

提案説明に立った朱豪栄(チュ・ホヨン)議員は、判事出身であり、二期目のハンナラ党議員である。李明博(イ・ミョンバク)大統領の当選が決定した際に置かれた「大統領職引継ぎ委員会」において、李明博氏のスポークスマンを務めた人物であり、大統領に比較的近い議員といえる。

朱議員は、「燃えあがる憤怒を抑えつつ、日本国の独島領有権主張の中断を促求する決議案について提案説明をいたします」と前置きをしながら決議案主文を朗読し、「議員の皆様が決議案を採択していただければ、この決議案を日本国議会及び日本国政府そして必要なところに書面で送るよういたします」と締めた。特に異議がでることはなく、議長が可決されたことを宣布し、本会議が終了した。午後3時20分の開会から3時32分の散会まで約12分と非常に短い開会時間であった。

主文(以下翻訳)

大韓民国国会は、独島が歴史的・地理的・国際法的に、そして実効的にも明白に大韓民国固有の領土であることを確固として再闡明し、日本文部科学省の中学校社会科教科書学習指導要領の解説書に、独島に対する領有権明記を強行しようとする動きに明確に反対しつつ、以下の通り決議する。

1 大韓民国国会は、大韓民国の固有の領土である独島について、日本の文部科学省が中学校社会教科教科書学習指導要領解説書に独島領有権を明記しようという行為は、大韓民国の主権と領土権を侵害する明白な挑発行為とみなし、日本政府が即刻中断措置を執ることを促求する。

2 大韓民国国会は、独島が歴史的・地理的・国際法的に、そして実効的にも明白に大韓民国の固有領土であるという点を強調しながら、日本政府のこのような行為は韓日間の未来志向的な善隣友好関係を深刻に毀損する重大な事態であるということを警告する。

3 大韓民国国会は、日本の文部科学省の独島領有権明記行為を即刻中止することを促求する大韓民国の努力に、アジア各国と国連（UN）を初めとする国際社会が共に参加することを期待する。

その後の動き

韓国国会での決議採択後、日本政府は「我が国固有の領土」との記述を見送ったものの、韓国国会議員らの反発は収まらなかった。報道によれば、7月14日に文部科学省の学習指導要領解説書が配布された直後、李明博大統領の兄、李相得（イ・サンドク）議員を含む与野党議員らが相次いでヘリコプターを利用し竹島を訪れ、声明を読み上げ、警備隊を激励するなどのパフォーマンスを行った。また、与党ハンナラ党議員ら約40名が日本大使館を訪れ、「領有権主張の撤回」を要求し、大使館前では革新派の野党民主労働党が抗議の意を示すシュプレヒコールを行った。

韓国各紙も一斉に社説で取り上げ、「韓国の立場に配慮して表現を調整したという説明だが、これは『言葉遊び』だ」（中央日報）、「これによって傷つく両国関係については、その責任のすべてを日本が負わねばならない」（東亜日報）、「日本は韓国を刺激して独島を紛争地域化し、日本出身の裁判官がいる国際司法裁判所に問題を持ち込もうとしているのかもしれないが、国際司法裁判所による審理事案は紛争当事国の同意が必要なことから、韓国がこれに応じる訳がなく最初から不可能だ。結局日本が独島を奪うには戦争を起こすしかないということになる」（朝鮮日報）といった強硬姿勢を示している。

注（インターネット情報はすべて2008年7月15日現在である。）

・日本国の独島領有権主張の中断促求決議案<<http://likms.assembly.go.kr/filegate/servlet/FileGate?bookId=9F46184C-E75E-2508-7617-A7142E055965&type=1>>

・第276回国会（臨時会）第2本会議会議録<http://likms.assembly.go.kr/kms_data/record/data2/276/pdf/276za0002b.PDF>

（白井 京・海外立法情報課）